

## 東京二十三区清掃一部事務組合議会が葛飾清掃工場を視察しました

平成22年11月11日（木）、清掃一組議会議員が葛飾清掃工場、中防不燃ごみ処理センター、粗大ごみ処理施設、埋立処分場を視察しました。

葛飾清掃工場は、灰溶融施設を併設しています。灰溶融施設では、焼却後に出る灰を電気で溶融し、容積を2分の1にすることにより、最終処分場の延命化を図っています。工場内では、実際のごみの搬入やごみバンカ（貯留設備）などのほか、不適正ごみ搬入防止のために実施している搬入物検査の様子をご覧ください。



葛飾清掃工場からバスで中防内側埋立地へ移動し、不燃ごみ処理センターや粗大ごみ処理施設を視察し、昼専用破砕機やスプリングマット処理機についてご説明し、最後に埋立処分場をご案内し視察を終えました。

## 杉並清掃工場の建替準備が進んでいます

昭和57年12月にしゅん工した杉並清掃工場は、既に28年が経過し、設備全体の老朽化が進行しています。そのため、清掃一組の「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成24年度の工事開始に向けて準備を進めています。建替計画の策定にあたっては「杉並清掃工場建設協議会」を設置して建替に向けた協議を行うと共に、昨年2月には住民説明会を開催し、区民の皆さんからご意見を伺いました。

また、本年9月には東京都が定める「環境影響評価制度（環境アセスメント制度）」に基づき、建替事業が周辺環境に及ぼす影響の予測・評価を取りまとめた「環境影響評価書案」を作成し、都による公示・縦覧と、意見書の提出の受け付けが行われました。縦覧期間中には、杉並区と世田谷区の会場で6回にわたる住民説明会を実施し、合計133名の方々にご参加をいただきました。

10月9日開催の説明会の様子



説明会では、大気汚染、騒音、振動などについて、予測及び評価をした結果を、地図や写真、

具体的な予測数値などを用いてわかりやすく説明し、そのあと約1時間をかけ、参加した皆さんからのご質問に対して丁寧な説明を心がけてお答えしました。杉並工場での説明会では「煙突の耐震性は大丈夫か?」「工事の際の振動や騒音はどのくらいに感じるものなのか?」など、具体的な質問が時間いっぱいまで続きました。最後に「今後も近隣住民が意見を言う場を設けてもらいたい」という要望をいただきました。これからも、工事説明会等、継続的に話し合いの場を設けていくことが、地域の方々の安心につながることを実感しました。

新たな杉並清掃工場の基本コンセプトは「地域にとけ込み、信頼される清掃工場」です。今後も、地域の皆さんの信頼を得られるように建替計画を進めていきます。

\*杉並清掃工場の建替計画は、清掃一組ホームページでご覧いただけます。  
<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

## 東京二十三区清掃一部事務組合議会報告

平成22年第3回定例会の主な議事内容は、以下のとおりです。

### ◆ 平成22年第3回定例会（平成22年9月21日開催）

#### ○ 議案・報告

番号	件名	概要	結果
認定 1	平成21年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額 80,119,005,508 円 歳出決算額 74,430,889,060 円 歳入歳出差引額 5,688,116,448 円	認定
議案 21	足立清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	定期補修及びボイラ設備整備工事 契約金額 504,000 千円	可決
議案 22	中防不燃ごみ処理センター第二プラント補修工事請負契約の締結について	定期補修工事、契約金額 459,900 千円	可決
報告 3	専決処分した事件の報告について	板橋清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約変更について	

#### ○ 一般質問

川口雅敏議員（板橋区）

「水銀混入ごみによる焼却炉の停止を踏まえ、不適正搬入の防止に向けた対策について」

榎本雄一議員（江東区）

「水銀混入ごみによる焼却炉の停止について、（1）停止期間中のごみの処理状況について  
 （2）再停止した足立清掃工場のごみの滞留状況と今後の処理方法について」

#### ○ 閉会中の継続調査

1. 運営委員会 ・ 議会の運営連絡等について